

(別紙様式)

令和 2 年 10 月 14 日

広島市長 様

法人名 広島中央保健生活協同組合

代表者名 藤原 秀文

以下のとおり報告します。

介護・医療連携推進会議の開催状況について（報告）

事業所名	定期巡回・随時対応型訪問介護看護生協くさつ 24		
所在地	西区草津東 1 丁目 11-19		
担当者名・連絡先	土井山 淳子	TEL082-507-1222	
従業者数	従業者総数 11 人（内訳：常勤 7 人、非常勤 4 人）(R2 年 9 月 30 日現在)		
会議の開催日	R2 年 10 月 14 日（令和 2 年度 第 1 回）		
会議の出席者	所属（団体等）名	職名	氏名
利用者			不参加
利用者の家族			不参加
地域住民の代表者	民生児童委員協議会		影山 哲至様
地域の医療関係者	訪問看護ステーション草津かもめ	所長	村上 美紀子
地域包括支援センターの職員	庚午	地域包括 支援センター	小谷 典子様
知見を有する者等			不参加
利用者の状況	利用者総数 12 人（R2 年 9 月 31 日現在） うち、事業所と同一建物に居住する利用者数 0 人 要介護 1：1 人 要介護 2：2 人 要介護 3：3 人 要介護 4：4 人 要介護 5：2 人 — — —		
会議の協議内容 ①サービス提供状況 ②地域における介護、医療 の課題等 ③その他の事業	①定期訪問、随時訪問の現状を報告した。 ②地域からの新規依頼について人員不足のため受けられない。 ③生協くさつ夜間対応ヘルパーステーションの利用状況について報告した。		
苦情の状況	なし		
事故の状況	6/23、8/5、9/23 訪問忘れがあった。8/17 ヘルパーの日付の勘違いによる重複服薬。8/21 移乗介助時利用者の足がベッドの下に入り込んでベッドのふちにあたって擦り傷ができた。		
その他の報告事項	なし		
評価、要望・助言等	利用者の尊厳を尊重して、さみしさ、動けなくなったくやしさに寄り添ってヘルパーだけではなくチームケアで利用者を支援してほしいと助言があった。介護も事故や苦情で裁判になることが増えているので、法人や事業所で謝罪の仕方統一や契約書の見直しを定期的に行うことが望ましいと助言があった。		

※欄が不足する場合など必要に応じ別紙等を添付してください。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 生協くさつ 24 介護・医療連携推進会議議事録

2020/10/14 16:00~16:45

参加者：庚午地域包括支援センター：小谷様、民生委員：影山様、訪問看護ステーション草津かもめ：村上、生協くさつ 24：土井山、西村、和田
議事録作成：和田直子

● 利用状況（2020/4~2020/9）

	利用者数	平均介護度	新規	中止		利用者数	平均介護度	新規	中止
4月	11名	3.27	1	1	7月	12名	3.33	0	0
5月	12名	3.33	1	0	8月	12名	3.33	0	0
6月	12名	3.33	0	0	9月	12名	3.33	0	0

西区 7件（井口 3、庚午 2、草津 3）、佐伯区 3件

● 依頼居宅（他法人 7件、自法人 5件）

土谷西広島、コモン、ゆたか古江、IGL 美鈴が丘、看護協会こい、井口台介護ステーション

● 連携訪問看護（だんだん、礼和クリニック、コープ五日市、草津かもめ）

● 介護度 介 1 (1) 介 2 (2) 介 3 (3) 介 4 (4) 介 5 (2)

1日の最多訪問回数 6回（介 4 排泄、車いす移乗、食事介助、見守りなど）

● 新規問い合わせ

12件の問い合わせがありましたが、訪問時間が重なっている朝・昼・夜間の依頼が多いことと、午後の空いた時間（14:00~15:00）は休憩時間や利用者の買い物をする時間にあてており、これ以上新規を受けるとは業務に支障が出るなどスタッフの負担も大きくなるためしばらくの間新規受け入れは中止させていただきました。それでも困っておられる利用者の依頼は何とか受け入れられないか検討をすることもしばしばありました。

● 緊急通報

用件\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
転落・転倒	0	1	2	1	4	5
排泄	15	17	24	26	17	22
不安・不調	1	1	1	3	12	3
何もない	5	2	2	1	0	1

前年度に比べ転落・転倒は減少しましたが、排泄の緊急通報は大幅に増えています。排泄では夜間・早朝に集中しています。訪問看護と相談し排便コントロールをいろいろ試していますが（便秘薬の量、内服時

間など)、利用者の生活習慣（食事、睡眠）を変えることは難しく、いまだ改善できてない状況です。

- 一年間で体重が10キロ減少し褥瘡ができてしまった利用者について

利用者の事例を紹介した。利用者の尊厳を尊重して、さみしさ、動けなくなったりやさしさに寄り添ってヘルパーだけではなくチームケアで利用者を支援してほしいと助言をいただきました。

- 新型コロナ感染症対応について

広島県の方針に基づいて、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する対応を職員一同取り組んでいます。統制今日の取り組みのお知らせを各利用者に配布し、ご協力のおねがいをさせて頂いています。（資料参照）

- 人事

異動 土井山淳子 かんおん24 管理者

和田直子 くさつ24・くさつヘルパーステーション管理者

生協くさつ夜間対応型ヘルパーステーション

- 利用状況（2020年4月～9月）

利用者数	中止
4名	1名（定期巡回に移行）

- 利用内容

夜間1回（22：00頃）定期訪問しているご利用者1名、定期訪問がない夜間（18：00～翌8：00）のみ対応しているご利用者2名、24時間対応しているご利用者1名です。定期訪問のないご利用者宅には2～3週間に1度訪問し身体状況・生活状況の確認を行うことと、通信機器の交換を行うため訪問しています。

- 緊急通報2回

①娘様（関東在住）から電話をしても出ない、と7：00頃通報あり。テレビの音が大きく着信音が聞こえなかったようで、娘様にすぐに連絡したケース。②8：00過ぎにケアマネジャーに通報があり（ケアマネ→くさつ夜間）。8：00を回っていたのでコープ五日市ヘルパーステーションへ回すよう説明し対応してもらった。通報から訪問までスムーズに対応できなかったことで娘様より何かあったらどうするの！どこに責任があるのかと激昂され謝罪しました。本来はくさつ夜間のオペレータが緊急通報を受け時間外であればオペレータが連携ヘルパーステーションに依頼するのが順序です。ただ、どこの事業所も利用者宅の近くにスタッフがいるとは限らず、訪問まで時間がかかることもあると契約時説明していますが、ご家族の心配は図り切れないと改めて知ることとなり、再度各事業所の役割・連絡の順番を確認しました。

介護も事故や苦情で裁判になることが増えているので、法人や事業所で謝罪の仕方統一や契約書の見直しを定期的に行うことが望ましいと助言をいただきました。